

1. ごあいさつ

当社の環境経営活動は、1996年に、担当役員の任命とともに安全環境管理部を設置した時点から、本格化いたしました。これは世界的な環境問題に対し、全社的かつ積極的に取り組むためであり、当社の「人を想い、地球を想う」という基本理念を具体的なものとするためであります。

同年には、ISO14001認証取得に向けて、翌1997年から国内主要事業場の取り組みを開始し、2002年までに国内主要事業場全ての認証取得を果たしました。さらに2003年3月には、事業場ごとのマネジメントシステムを、全社的な一つのシステムとして統合いたしました。また、当社海外グループ工場においても、MBL (USA) CORPORATION (アメリカ)、P. T. Mitsuboshi Belting Indonesia (インドネシア)、MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED (シンガポール)、STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED (タイ)、SUZHOU MITSUBOSHI BELTING CO., LTD. (中国) に引き続き、2008年にはP. T. SEIWA INDONESIA (インドネシア) が認証取得し、世界規模で主要生産拠点の認証取得を完了し、維持しております。

マネジメントシステムの認証取得の一方で、ゴム・樹脂製品の専門メーカーとして、環境にやさしい新製品の開発、製造工程からの廃棄物削減・リサイクル促進、CO₂排出削減、有害物質削減、環境負荷の少ない原材料・部品・製品のグリーン調達といった諸活動を着実に進め、ノンハロゲンベルトの開発、廃棄物のリサイクル、有機溶剤の水系素材への転換、欧州RoHS・ELV指令、REACH規則等への対応などの成果を上げております。

また、2007年より、“PRIMESTARS”シリーズとして全製品のグレードアップを図り、高機能・高精度・高品質な製品を展開しており、2008年には、世界で初めて、樹脂とゴムの特長を生かした全く新しい無段変速機用ベルト「narromadillo[®] (ナロマジロ[®])」、2009年には、曲げ抵抗を低減し省エネ効果が期待できる食品用樹脂コンベヤベルト「ママライン[®] MX333シリーズ」、自動車の燃費向上に寄与する自動車向け低モジュラスVリブドベルト「Star Fit[®]」を、2012年には節電効果を従来比2倍に向上させた省エネルギー用Vベルト「ULTRA e-POWER[®]」を、消費電力の削減と長寿命化に寄与するLED照明器向けのガラスカバー用塗料「三ツ星ハイカラー[®] S」をそれぞれ販売いたしました。また、2016年には自動車向け発電機（オルタネータ）用ブーリー「Smastar[®]」を販売開始し、システムサプライヤーとして自動車メーカーへの取り組みを強化しています。

基本理念の取り組みの一つとして、1993年から従業員によるボランティア団体の「三ツ星ベルトふれあい協議会」を組織し、地域に密着したふれあい活動の中で、神戸市が推進する学校ビオトープづくりに協力し、防水ゴムシートの無償提供とボランティア社員による施工技術の提供を行い、これまでに設置したビオトープ池は100以上に上り、子どもたちが自然とふれあうことのできる環境づくりに貢献しています。この活動に対し、1999年には神戸市より「環境功労賞」を、2008年には環境省より「みどりの日・自然環境功労賞」を、2009年には兵庫県より「兵庫県社会賞」を頂きました。

この報告書は、当社の2016年度の地球・地域環境保全活動の取り組みや成果を皆様方にお知らせする、第16回目の報告書であります。この報告書により当社活動へのより深いご理解とともに、皆様方からのご意見を頂ければ幸いに存じます。

2017年12月
三ツ星ベルト株式会社



代表取締役会長
西河 紀男



代表取締役社長
垣内 一